

B4

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2005-226168

(P2005-226168A)

(43) 公開日 平成17年8月25日(2005.8.25)

(51) Int. Cl.⁷

F I

テーマコード (参考)

A 4 1 D 3/06

A 4 1 D 3/06

B

3 B 0 3 1

A 4 1 D 1/06

A 4 1 D 1/06

L

A 4 1 D 3/04

A 4 1 D 3/04

Z

審査請求 未請求 請求項の数 2 O L (全 6 頁)

(21) 出願番号 特願2004-33045 (P2004-33045)

(22) 出願日 平成16年2月10日 (2004. 2. 10)

(71) 出願人 000000077

アキレス株式会社

東京都新宿区大京町22番地の5

(74) 代理人 100103126

弁理士 片岡 修

(72) 発明者 伯耆田 隆一

茨城県守谷市大柏533の2

Fターム(参考) 3B031 AA14 AB02 AB14 AC05 AC17

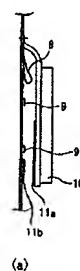
(54) 【発明の名称】 雨衣

(57) 【要約】

【課題】 雨衣のズボンと上衣のサイズを簡単に調整可能にして見栄えを良くし、その後、簡単に元のサイズに戻すことができるようにする。

【解決手段】 雨衣のズボン1の裾口4の裏地に雄型面ファスナ5aを設け、裾口4の上部の裏地に雌型面ファスナ5bを設けて、裾口4を内側に折り曲げて面ファスナ5a、5b同士を係着させるようにする。上衣2については、袖4の上部にゴムループ8を取り付け、その下方にゴムループ8を引掛けることのできる釦9を複数段に設け、その外側をベン挿し部材10で覆うようにする。

【選択図】 図3



【特許請求の範囲】

【請求項1】

ズボンと上衣からなる雨衣であって、前記ズボンは裾丈調整手段を備えるとともに、前記上衣はユキ丈調整手段を備え、前記裾丈調整手段は、ズボンの裾口の裏地に設けられる雄型面ファスナを、裾口上部の裏地に設けられる雌型面ファスナに係脱自在にすることで構成され、前記ユキ丈調整手段は、袖の上部の表地に設けられるループ部材を、その下方の表地に設けられる上下複数段の釦に係脱自在にすることで構成されることを特徴とする雨衣。

【請求項2】

前記上衣の袖のうち、少なくとも左袖には、前記ループ部材より上部の表地にペン挿し部材が取り付けられ、このペン挿し部材がループ部材と複数段の釦の外面を覆うべく上方から垂下し、その下端部が、最下段の釦の下方の面ファスナに係脱自在にされることを特徴とする請求項1に記載の雨衣。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、上衣とズボンのサイズが調整可能な雨衣に関する。

【背景技術】

【0002】

従来、雨衣において、サイズ調整機能付きのズボンが知られており、例えば、ズボンの裾を切断可能にして調整できるようにした技術や、ズボンの両脚の膝部分の両側に、オスメスの係止具を上下に間隔をあけて配設し、各係止具に係合させることで、膝部分に折り重ね部分を形成して裾丈を調整するような技術（例えば、特許文献1、特許文献2参照。）などが知られているが、上衣の袖の長さについては、特にユキ丈を調整するような機能は知られていない。また、袖口には、袖口から雨等が浸入するのを防止するため、通常ゴム等により手首を締付ける構造が採用されているため、袖口を切断してサイズを調整するようなことも行われていない。

【0003】

【特許文献1】特開平9-256206号公報（図1～図4等）

【特許文献2】実用新案登録第3049038号公報（図1、図2）

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【0004】

ところが、雨衣の場合も上衣が体にフィットしていなければ見栄えが悪く、また、各種作業を行うような時も上衣が大きすぎる場合には作業性が悪いという問題があった。

また、体にフィットしたサイズに調整した後、簡単に元のサイズに戻すことができれば便利であった。

【0005】

そこで本発明は、雨衣のズボンと上衣のサイズを簡単に変えて見栄えの低下を防止すると同時に各種作業性も良好にし、その後、簡単に元のサイズに戻すことができるようにすることを目的とする。

【課題を解決するための手段】

【0006】

上記目的を達成するため本発明は、ズボンと上衣からなる雨衣において、前記ズボンに裾丈調整手段を設けるとともに、前記上衣にユキ丈調整手段を設け、前記裾丈調整手段として、ズボンの裾口の裏地に設けられる雄型面ファスナを、裾口上部の裏地に設けられる雌型面ファスナに係脱自在にすることで構成し、前記ユキ丈調整手段として、袖の上部の表地に設けられるループ部材を、その下方の表地に設けられる上下複数段の釦に係脱自在にすることで構成するようにした。

【0007】

このように、裾丈調整手段として、ズボンの裾口の裏地に設けられる雄型面ファスナを、裾口上部の裏地に設けられる雌型面ファスナに係脱自在にすることで構成し、例えば元のサイズをやや大きめにするとともに、サイズを縮める場合は、裾口を内側に折り返して雄型面ファスナと雌型面ファスナを所望の位置で係着させれば、簡単な手順で調整が行えるとともに、ズボンの表面に水が溜まるような個所ができず、また脱ぐときに水が体に付着するような不具合がない。

また、サイズを調整しないでそのままの状態を使用する際、雨衣のズボンを履いたり脱いだりするときに、洋服のズボンが引っ掛かりにくい雌型面ファスナが裾口の上部の裏地に設けられ、引っ掛かり易い雄型面ファスナが、雨衣のズボンの裾口の裏地に設けられているため、洋服のズボンに引っ掛かるような不具合がない。

【0008】

また、ユキ丈調整手段として、袖の上部の表地に設けられるループ部材を、その下方の表地に設けられる上下複数段の釦に係脱自在にすることで構成し、例えば元のサイズをやや大きめにしておくとともに、サイズを縮める場合は、ループ部材を所望の釦に引掛けるようにすれば、この場合も簡単な操作で調整でき、また表面に水が溜まるような個所ができない。

ここで、ユキ丈調整手段のループ部材としては、例えば伸縮性のある輪ゴム状部材や、その他の任意の輪状部材を使用することができ、また、釦としては、ループ部材に引掛けることが出来れば形状等は任意である。そして、ループ部材に釦を引掛けることにより袖の長さを任意に調整できるよう上下方向に複数設ける。

【0009】

また本発明では、前記上衣の袖のうち、少なくとも左袖に、ループ部材より上部の表地にペン挿し部材を取り付けて、このペン挿し部材がループ部材と複数段の釦の外面を覆うべく上方から垂下するようにし、その下端部を、最下段の釦の下方の面ファスナに係脱自在にした。

このように、ペン挿し部材によってループ部材と釦の前面を覆うようにすれば、見栄えがよくなる。

なお、右袖にも設けるようにしてもよい。

【発明の効果】

【0010】

雨衣のズボンに裾丈調整手段を設ける一方、上衣にユキ丈調整手段を設け、裾丈調整手段として、ズボンの裾口の裏地に設けられる雄型面ファスナを、裾口上部の裏地に設けられる雌型面ファスナに係脱自在にすることで構成し、ユキ丈調整手段として、袖の上部の表地に設けられるループ部材を、その下方の表地に設けられる上下複数段の釦に係脱自在にしたため、簡単な操作でサイズを調整することができ、また、雨衣の表面に水が溜まるような不具合を防止できる。

また、ループ部材の上部の表地にペン挿し部材を取り付け、このペン挿し部材でループ部材と釦の外面を覆うようにすれば、見栄えを良好にすることができる。

【発明を実施するための最良の形態】

【0011】

本発明の実施の形態について添付した図面に基づき説明する。

ここで図1は本発明に係る雨衣のズボンの構成例を示す説明図、図2は上衣の構成例を示す全体図、図3はユキ丈調整手段の説明図で、(a)は側方から見た説明図、(b)はペン挿し部材を裏返して説明する説明図である。

【0012】

本発明に係るズボン1と上衣2は、例えば化学繊維や天然繊維等の素材からなる織布にウレタンや塩化ビニルなどがラミネートまたはコーティングされた雨衣であり、これら雨衣のズボン1と上衣2には、サイズを簡単に変えて体にフィットさせることができるような機能が付与されるとともに、必要に応じて、その後、簡単に元のサイズに戻すことがで

きるようにされている。

【0013】

まず、ズボン1について説明すると、このズボン1には、裾丈調整手段が設けられており、この裾丈調整手段は、図1に示すように、ズボン1の裾口4の裏地に設けられる雄型面ファスナ5aと、裾口4の上部の裏地に設けられる雌型面ファスナ5bを備えている。

そして、これらの面ファスナ5a、5bは、例えば、裾口4内面や、その上部の内面のうち円周方向に沿って3箇所程度局部的に設けるようにしており、裾口4を内側に折り曲げた後、対応する面ファスナ5a、5b同士を所定の高さ位置で係着させることにより、(b)に示すように、裾丈を短く調整できるようにしている。

【0014】

またこの際、洋服のズボンなどに引っ掛かり易い雄型面ファスナ5aが裾口4に設けられ、洋服のズボンなどに引っ掛かりにくい雌型面ファスナ5bが裾口4の上部に設けられているため、サイズを調整しないでそのままの状態洋服のズボンの上から履くような場合でも、洋服のズボンが面ファスナ5a、5bに引っ掛かって不自由を感じるような不具合がない。

【0015】

次に、上衣2について図2及び図3に基づき説明する。

この上衣2は両袖6部分にユキ丈調整手段を備えており、このユキ丈調整手段は、図3に示すように、袖6の上部の表地に取り付けられるループ部材としてのゴムループ8と、このゴムループ8の下方の表地に取り付けられる上下二段の釦9を備えている。そして、このゴムループ8を上段または下段の釦9に引掛けることによりユキ丈を調整できるようにされている。

【0016】

そして、このようなゴムループ8と釦9は、縫着または接着などの任意の手段で袖6の表地に取り付けることができ、縫製箇所などで防水性が低下した場合などは必要に応じて防水加工を施している。

【0017】

また、上記のようなユキ丈調整手段のうち、左袖4のユキ丈調整手段の前面には、防水性のある生地からなるベン挿し部材10を取り付けている。このベン挿し部材10は、例えば上端部がゴムループ8の上部の袖6の表地に縫着または接着などで固着され、下端部が、最下段の釦9より更に下方に向けて延出するとともに、下端側の裏面側に面ファスナ11aが取り付けられ、また、最下段の釦9より下方の袖6の表地には、対になる面ファスナ11bが取り付けられている。

【0018】

そして、ゴムループ8をいずれかの釦9に引掛けると、それより下方の袖6部分が面ファスナ11bを含んで上方に引上げられるため、袖4の面ファスナ11bに対応するベン挿し部材10の裏側の面ファスナ11aは、上下方向に長さが長くされている。

【0019】

以上のような雨衣において、ズボン1については、裾口4を内側に折り返し、雄型面ファスナ5aを裏地上部の雌型面ファスナ5bの所望の位置に係着させるだけで裾丈を調整することができ、上衣2においては、ゴムループ8を所望の釦9に引掛けて中間部を裏側に折り曲げるだけでユキ丈を調整でき、いずれも操作が簡単であるとともに、サイズを調整した後も表面に水が溜まったり、着脱時に体に水が付着するような不具合がない。

また、体にフィットさせることができるため見栄えが良く、また各種作業を行うときの作業性も良好である。

更に、必要な場合は簡単に元のサイズに戻すことができるため、例えば個人用でなく団体用として予め多数の雨衣を準備しておくような場合に便利である。

【0020】

なお、本発明は以上のような実施形態に限定されるものではない。本発明の特許請求の範囲に記載した事項と実質的に同一の構成を有し、同一の作用効果を奏するものは本発明

の技術的範囲に属する。

例えば、ユキ丈調整手段のゴムループ8はゴム素材以外の弾性素材でもよく、また、弾性力のない輪状部材でもよい。また具体的な釦9の種類や形状等も任意であり、また、釦9の数等も任意である。

また、ペン挿し部材10を右袖6にも設けるようにしても良い。

更に、ズボン1の裾丈調整手段の面ファスナ5a、5bを円周方向に分割する時の数等も任意であり、分割しないで全周に設けるようにしてもよい。

【産業上の利用可能性】

【0021】

雨衣の上衣とズボンの両方のサイズを調整可能にすることで、体にフィットして見栄えを良くすることができ、雨衣を着用した状態での作業性等も良好になるとともに、サイズを調整する操作が簡単に行える。

【図面の簡単な説明】

【0022】

【図1】本発明に係る雨衣のズボンの裾丈調整手段の説明図

【図2】上衣の構成例を示す全体図

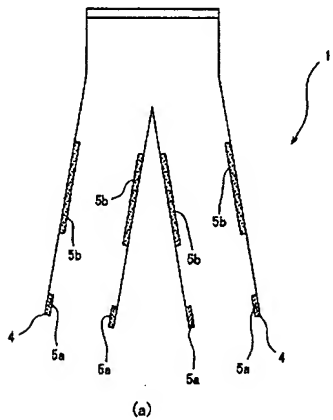
【図3】ユキ丈調整手段の説明図で、(a)は側方から見た説明図、(b)はペン挿し部材を裏返して説明する説明図

【符号の説明】

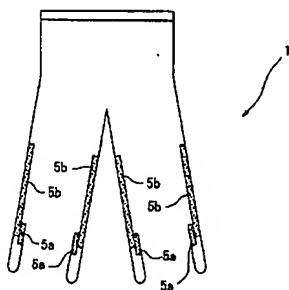
【0023】

1…ズボン、2…上衣、4…裾口、5a…雄型面ファスナ、5b…雌型面ファスナ、6…袖、8…ゴムループ、9…釦、10…ペン挿し部材、11a、11b…面ファスナ。

【図1】



(a)

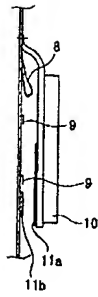


(b)

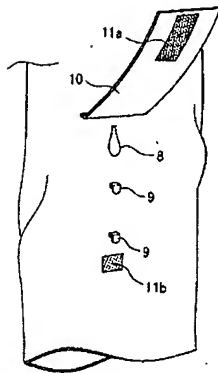
【図2】



【図3】



(a)



(b)

